



年頭のごあいさつ

CTF松阪 会長 川口保美

明 けましておめでとう御座います・・・と年頭のご挨拶をCTF通信の紙面で申し上げますのも今年で2年目となります。

昨年平成16年は日本の歴史に残る年になるかもわかりません。

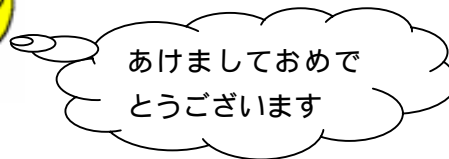
記憶に残るのは、記録的な猛暑・観測史上最も多い台風の上陸・大きな被害の出た中越地震・自衛隊のイラク派兵・長引く不況等ですが、いずれも好ましいものでは無かったようです。申年～猿年～去年

(=さるとし)とこの様な年は早く忘れ去りましょう。

そして飛躍の酉年を迎えましょう。

本 年は、松阪市も合併により飛躍的に大きな市になりました。

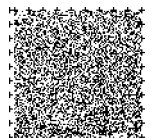
CTF松阪に致しましても、会員の皆様お一人一人にとりましても明るい展望の開けました、良いお年に成ります事を祈念いたしまして酉年年頭のご挨拶とさせていただきます。



もともと四五百の森と言われた所は、今の松阪城跡と隣の松阪神社、本居宣長の宮の山と一体になった森を指して居たそうです。築城の際戦略上の理由で、今の殿中正門前から松工高西門前までを切り開いたそうです。この山に挟まれた道で今年2回珍しい現象を体験しました。

気温と湿度と天候のせいでしょうか、この間でモヤが発生したのを発見したのです。モヤの無い所からこの道に入るとモヤがかかり曇ったような感じになり、通り抜けるとモヤはすっかり晴れているのです。後を見ると確かにモヤがみえるのです。(kobaejt)

今月号は文字数が多いので、2ページと4ページにSPコードをそれぞれ2個ずつ付けてあります。2ページと4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。



ポートスキャン (1)

DNS のおかげで無事 IP アドレスも分かりました
がこれで WEB ページを見ることができるようか？

編集部注：DNS については本紙第 11 号～第 14 号と
第 16 号、第 17 号に解説を連載しました

あなたのパソコンがサーバーに対して「WEB ページを見せてください」という要求(実際には「GET / HTTP/1.0」という文字列を送信します)をしますとサーバーは「どうぞ見てください」と WEB ページを送ってきてくれるのでしょうか？

いいえ、いきなりそのような文字列(「GET / HTTP/1.0」)を送られてきてもサーバーは対応することが出来ません。何故対応できないかというと、「GET / HTTP/1.0」のような文字列を受け入れる準備が出来ていないからです。「文字列を受け入れる準備」というのは、具体的には文字列を処理するプログラムを動作させたり、文字列を格納するバッファを確保したりしなければなりません。そこで、クライアントパソコン(依頼する側)からサーバー(サービスする側)に対して「準備は良いですか？」と確認する必要があります。

クライアントからサーバーに送出する確認のデータの事を「SYN」といいます。「SYN」というのは、クライアントとサーバーが協調(Synchronize)して動作する為に送られるデータです。サーバーは

この確認要求を受け取ると、「準備は良いですよ。あなたの方も準備は良いですか？」と返事を返してきます。

サーバーからクライアントに送出するデータで、「準備は良いですよ」と言っている部分を「ACK」といいます。「ACK」というのは、応答(Acknowledgement)という意味です。

続いて、「あなたも準備は良いですか？」と言っている部分があります。これは、「サーバーからクライアントに対しての」準備確認の要求です。これも「SYN」といいます。

サーバーからクライアントに対して送られてくる「ACK」と「SYN」ですが、意味が2つあるからと言って、データが2回送られる事はなく、1つのデータとしてまとめて1回で送られます。

クライアント側はこのサーバーからの応答(ACK)を受けて、サーバーの準備が出来ているのだという事を認識します。そして、「準備が出来ているのか」と問い合わせ(SYN)を受けたわけですから、「いいですよ」(「ACK」)と返事を返します。サーバーはこの応答を受けてクライアントの準備が出来ているのだという事を認識します。

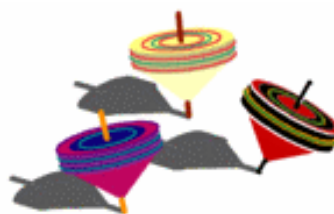
=== 文責：岩崎 ===
(つづく)



第10回理事会開催

12月11日(土)松阪市障害者福祉センター(松阪市殿町)において、理事7名が出席し、第10回理事会を開催しました。

内容は次のとおりです



- 1.最近の活動状況の報告
- 2.今後の活動計画その他の審議(以下の事項をそれぞれ決定しました)
 - 障害者対象個人向けパソコン講座(定例)の開催について
 - 障害者に対するIT支援ネットワーク第6回実行委員会の開催について
 - 松阪地方県民局生活創造圏協働プロジェクト提案について

活動報告

【12月】

- 第10回理事会 (11日)
- 障害者に対するIT支援ネットワーク
第6回実行委員会 (17日)
- 障害者対象個人向けパソコン講座
(7日、14日、21日)

活動予定

【1月】

- 第11回理事会
8日 13:30~16:00
松阪市障害者福祉センターにて
- 障害者対象個人向けパソコン講座
11日、18日、25日
各9:30~11:30
松阪市障害者福祉センターにて

小寒・大寒

1月5日は小寒、20日は大寒です。
これらは二十四節気の名前で、小寒は、「寒気が徐々に強くなり、降雪も本格化する」時期、大寒は「寒気が本格的になり1年中で最も寒い」時期といわれています。
十分な栄養と休養をとって、寒い時季を乗りきりましょう。



編集部から

皆様新年明けましておめでとうございます
今年も皆様に喜ばれるCTF通信を作っていきます。
よろしくご愛読ください。。。



今月は、現役でお仕事に忙しくご活躍のかたわら、サーバーの設置・運営・管理などCTFの技術部門を一手に引き受けてくださっている櫛田壽一様からご寄稿をいただきました。

光を求めて

櫛田 壽一

テールランプが帯のように繋がって暗闇の中を浮き彫りする。やっとの思いでその帯の中から抜け出し疾走する高速へと進入。今までの流れとは違った速度に戸惑いを感じながらもすぐに光の帯へと同化した。現在時刻 23 時 20 分、2 時までには帰宅できるかと頭をよぎる。時々小雨が降る中、ワイパーが動くたびにテールランプの光が歪む。

どれくらい走っただろうか、前方に工事用の赤いラインが瞬きだした。そろそろ乗り換え口のはずだと思いながらも急速に工事用の点滅ランプが近づいてきた。突然通行止めの文字、入り口が封鎖されている。唖然となった。ぐるぐると頭の中で迂回路を思い浮かべてみたもののひとまず近くのインターで降りることにした。急速に暗闇が支配し、ひっそりと空き地に車を停車した。

ここは何処だ。地図やカーナビなど搭載していないため、現在地が把握できない。携帯で道路状況を調べてみる。この時期 20 時から翌朝 6 時まで主な高速は夜間通行止めか車線規制中だ。しばらく呆然となった。

「ルート検索頼む」暗闇の中からかすかな望を託してメールを打つ。5 分ぐらいたっただろうか緑の淡い光が瞬きだした。

メールだ。「北進、25 号から天理を目指せ」これで何とか帰れそうだ。勢いを取り戻したかのように眩しくライトが闇夜を切り裂き、今来た方向とは逆方向に疾走した。夜間のためか幹線道路は車も少なく思いのほか早く 25 号にでた。しかし道路は車で一杯、はるか交差点の先までテールランプが帯のように続く。大型車も多く迂回の手だろうか。次第に速度は落ち、ついに車の動きが止まった。15 分たってもほとんど進まない。対向車が来ることから通行止めでは無いようだ。「迂回路頼む」車を止め再びメールを打つ。しばらくたって「右折、5 キロ並走」の文字が携帯からまぶしく写った。オドメータを頼りに迂回路から元の道へと戻った。点々とテールランプが見える程度だ。どうやら工事区間を通り越したようだ。

日付はいつの間にか変わり 1 時をとくに回っている。右手に高速の橋脚が見えてきた。やっとな天理だ。再び高速の光に溶け込み、光の道に沿って流れた。パーキングの文字に誘われるかのように光の海に止まった。ガチャと吐き出された缶コーヒーを取り出し、メールを打つ。「ありがとう、おやすみ」。体中にゆっくりと暖かさが伝わるのを感じながら、再び光への道へと戻った。

次号も皆様どうぞお楽しみに・・・



CTF 通信 第22号

2005年(平成17年)1月発行

発行者 ITを活用した障害者支援NPO法人CTF松阪

発行責任者 川口保美

住所 〒515-0081 松阪市本町2181-1

電話 0598-21-7268

URL <http://www.geocities.jp/sanguudo/ctf/>

